

淡路警察署だより 6月号

【夏の少年非行防止】

○SNS等を介した犯罪被害の防止対策

SNS等で知り合った人と直接会わない。

自分の顔写真等の個人情報を送らない。

保護者によるペアレンタルコントロールを活用し、インターネット上の犯罪やトラブルから子どもたちを守りましょう。

○少年の大麻乱用防止対策

大麻乱用少年が増加傾向にあります。

大麻は有害な違法薬物です。

○お子さんの非行等でお困りのときは

少年相談員による少年相談室「ヤングトーク」、少年サポートセンターのほか、警察署少年係において少年相談を受け付けています。

少年相談室「ヤングトーク」
無料ダイヤル 悩んだら トーク
0120-786-109

夏期における水難・山岳遭難の防止

～水の事故、山の事故を防いで海、川、山を安全に～

水難事故防止に向けて

○ 悪ふざけはやめましょう

水辺では、ちょっとしたいたずらが命にかかわりかねません。ふざけて人に抱きついたり、押さえつけたりするのはやめましょう。

○ 子どもから目を離さないでください

保護者が目を離した際に子どもが溺れる事故が発生しています。

水辺では、子どもから目を離さないようにしましょう。

日頃から、子どもに対し、危ない場所には近づかないように注意してください。

○ 大人も注意しましょう

昨年、県内で水難事故によって亡くなられた方の大半は「大人」で、魚釣りや作業中に転落したり、遊泳中に溺れたりするなどして命を落とされています。

海や川、池などでは、自身の体力、泳力を過信せず慎重な行動に努めてください。



また、飲酒後の遊泳は大変危険なのでやめましょう。

○ 救命胴衣があなたの命を守ります

誤って海等に転落した方が、救命胴衣を着用していたことで、無事救助されたケースもあります。

ご自身やご家族等の大切な人の命を守るためにも水辺では、救命胴衣を着用しましょう。

ヨット・モーターボート・水上オートバイ等を利用する皆さんへのお願い

○ 遊泳者等への接近や危険行為はやめましょう

遊泳者との事故防止のため、海水浴場には水上オートバイやモーターボート等を乗り入れないようにしましょう。

特に、一部の海水浴場では、条例に基づいて遊泳区域が指定されており、水上オートバイ等を乗り入れた場合、罰せられることがあります。

その他の場所でも周囲の状況を確認し、他者に危険が及ばないようにしましょう。

万が一、事故を起こしたときは、直ちに負傷者を救護するとともに、119 番通報・110 番通報など必要な措置をとってください。

山岳遭難防止に向けて

しっかりと計画を立てて登山に臨みましょう。

○ 登山計画の策定

登山計画は、できる限り参加者全員で立て、日程やルート、装備品等を全員に周知しておくことが大切です。

・ 日程・ルート

最も体力や経験がない人を基準にルートを選ぶほか、日程に余裕のある計画を立てましょう。

・ 装備

低い山であっても侮ることなく、スマートフォン（携帯電話）と予備バッテリー、ラジオ、地図、方位磁石、非常食、ライト、雨衣などを準備しておきましょう。

○ 登山届の提出

登山計画を立てたら登山届を作成し、家族や職場、所属する山岳会、入山地を管轄する警察署（管轄署が不明な場合は警察本部地域企画課）に提出しましょう。

万が一、遭難したときに、捜索の重要な手掛かりとなります。

兵庫県警察本部に送付する場合

郵 送 先：〒650-8510

神戸市中央区下山手通5丁目4番1号 兵庫県警察本部地域企画課

FAX番号：(078)341-5535

安全な登山に向けて

○ 登山は「万全な体調」で

毎年、登山中の体調不良による山岳遭難が発生しています。

登山には万全の体調で臨み、体調不良時は登山を控えましょう。

また、登山中も水分等の補給に努め、体の不調を感じたときは直ちに登山を中止し、状況によっては救助を要請しましょう。

○ 無計画な登山や安易なルート変更はやめましょう

県内の山岳遭難で、一番多いのが「道迷い」です。

日が暮れて道が分からなくなったり、急にルートを変更して道に迷ったりするケースが散見されます。

知らない道や暗闇の中で危険な目に遭わないためにも、安易なルート変更は控え、計画的な登山に努めましょう。

通報時等の注意点

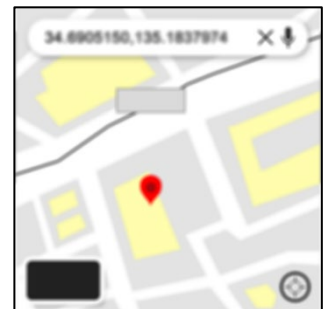
○ 「119 ばんつうほうプレート」を御存じですか？

六甲山等の登山道には、「119 ばんつうほうプレート」が設置されており、通報時にプレートの番号を告げるだけで、通報者の位置が分かります。警察は消防と連携していますので、110 番通報時にもこの番号を教えてください。



○ 地図アプリ等によりGPS情報の取得ができます

携帯電話の位置情報（GPS）サービスの設定をONにした上で、Google マップ等の地図アプリにより位置情報を取得することで、より正確な位置情報を知ることができます。



表示された緯度・経度を 110 番通報時等に伝えることにより、迅速な救助活動につながります。

○ ヘリコプターに合図してください

警察や消防では、山岳遭難者等の搜索救助活動にヘリコプターを活用しています。

搜索のヘリコプターが近くまで来れば、ヘリコプターから発見されやすいように、次のような合図を送ってください。



- ・ 周囲と比較して目立つ色の物で、大きく合図する。
- ・ 鏡やカメラのフラッシュ等でヘリコプターに光を向ける。
- ・ 樹木が密生している場所を避けて合図する。